



新年度が始まって1か月。新しい環境には慣れてきましたか？
田植えが終わった田んぼの水面に、景色がさかさまに映り込む。そんな季節限定のイベントが毎年楽しみです。読書もはかどる気持ちよい季節に、自分に合う1冊、見つけてみませんか？

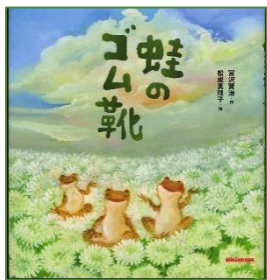
ゴールデンウィークのはじまり

4月末から5月初めにかけての大型連休を「ゴールデンウィーク」といいますが、これは、1951年に映画会社の人たちが、お客さんが増えるこの大型連休を業界用語として「黄金週間」と呼ぶようになり、のちに英語に訳した「ゴールデンウィーク」と言われるようになったそうです。

『日本の年中行事 5・6月』深光富士男：著 学研 38／フ

このことにちなんで、映画に関連する本を読んでみませんか。
宇都宮出身の作家門井慶喜原作の『銀河鉄道の父』は、宮沢賢治のお父さんが主人公のお話です。5年生の国語で賢治の「注文の多い料理店」を勉強します。他にもたくさんのお話を書き、作家以外の才能にもあふれた賢治。

映画の原作はちょっと難しいので、田原西小の図書室にある賢治の童話を読んでみてください。ちなみに、今年は賢治の没後90年にあたります。



4月の貸出冊数

1-1	51	5-1	23
2-1	87	6-1	25
3-1	99	6-2	41
4-1	103	単位：冊	

おねがい

本バッグを使って本の持ち運びをしてもらっていますが、雨の日にはぬれないように気を付けてください。

なつ ちか はちじゅうはちや
♪ 夏も 近づ く 八十八夜 ♪

みなさん、お茶は好きですか？
3年生の音楽の教科書に出てくる『茶つみの歌』の中の「八十八夜」という言葉。
どんな意味なのか知っていますか？

立 春から数えて八十八日目のことを「八十八夜」といいます。
ちなみに、今年の八十八夜は今月の2日でした。
この日につんだ新茶はとてもいいものとされ、この日にお茶を飲むと
長生きするともいわれています。



『ものしり事典365日 5月』小峰書店 03/ガ

季節に合わせて

『14ひきの びくにつく』



いわむら かずお：作
童心社 E/I
きょうは、なんて いいて
んき。みんなで、はるの の
はらへ でかけよう。

14ひきは おべんとうを もって
びくにつくに おでかけです。

14ひきと いっしょに はる
を みつけて みませんか？



『ニルスのふしぎな旅①～⑤』



セルマ・ラゲルレーフ：原作
Gakken
949/ラ/1～5

単なる少年ニルスの冒険

ものだと思っていたお話は、
実は「悪ガキ」ニルスが自分
の悪さがもて妖精に小

くされてしまったことから始まる物語でした。

動物たちと話せるようになったニルスは、元
の姿に戻るために、ガンの群れやガチョウの
モルテンとともに「立派な人間」になるための
旅に出ました。

風薫る5月、ニルスと一緒に旅に出てみませ
んか？